
戦いは何のために

赤莓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦いは何のために

【Nコード】

N1820I

【作者名】

赤莓

【あらすじ】

女の子の叫び声、
殺されたに。

D灰小説のパロです。

かなり長くなっていく予定です。

最終的にただの恋愛ものになりますw

大好きなにい。

「嫌だよにい！！！！しんじやいやああああ！！！」

私は叫んだ。粒状と化しているお兄ちゃん。

『』

私の名前を呟いたにい。

「・・・・ど・・・・う・・・・して・・・・・・？」

こんな漫画の様な物語、あるわけ無いじゃない・・・・！

私は自分の銃を取り出した。

少し前ににいに買って貰った大切な銃。

「う、わあああああ！！！！！」

銃があのかモノに効かないのは知ってる。

にいがあれだけ撃つてもなんの傷も付かなかったみたいだから。

でも、どうしてもあのかモノを殺してやりたかった。

私のたった一人の家族、

『お兄ちゃん』

を殺したあのかモノを。

「にいを返して！！このかモノお！」

涙で前が見えなくなる。

私はにいと一緒にいく決意をした。

ババババババ！！！！

銃の反動で右腕に衝撃が走る。

その衝撃を左腕が必死で支える。

そして銃で撃たれたあのかモノは・・・

爆発した。

「・・・・・・・・え？」

一瞬、涙が止まる。辺りが静かになる。

風邪の音も無い。

地面に落ちるバケモノの残骸。

もう原形のとどまって無いに。

そして・・・その場にヘナヘナと座り込んだ私。

時間が止まったように何も動かない。

「大丈夫ですか?!」

誰かがこつちに来る。

でも視界がかすんで殆ど見えない。

「にい・・・」

ショックで意識が遠のいているんだ。

「・・・に・・・い・・・」

私はにいの上に倒れこんだ。

『私も・・・・・・・・一緒に・・・・・・・・にい・・・・・・・・と・・・にい・・・・・・・・』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1820i/>

戦いは何のために

2010年10月28日03時01分発行